



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

一橋大学大学院言語社会研究科
韓国学研究センター設立記念
国際シンポジウム

韓国文化の芸術的な想像力と 深層世界 —音楽・美術・舞踊・衣装—

<Keynote Speech> Aesthetics of Korean Dance: Concepts and Techniques
第1部 アジアの中の韓国文化 第2部 韓国の音楽と舞踊の世界

日時： 2017年5月13日(土)9:30～17:30
会場： 一橋大学 東キャンパス
第3研究館 3階 研究会議室

プログラム

第1部 アジアの中の韓国文化

司会：鈴木将久（一橋大学）

開会の辞（9：30～9：40）…………… 坂井洋史（言語社会研究科長）

1. 朝鮮時代軍楽の社会・文化史に向けて（9：40～10：00）…………… 植村幸生（東京芸術大学）

2. 元代の古琴を論ず〔論元代的古琴〕（10：00～10：20）…………… 王風（北京大学）

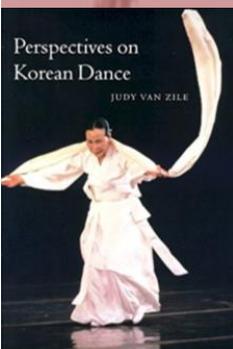
3. 仏教/仏教美術からみた韓国の美/アジアの美—飛天を中心に（～10：40）…………… 姜嬉静（西江大学）

休憩（10：40～11：00）

4. 日本のモダンダンスと朝鮮—石井漠と崔承喜（11：00～11：20）…………… 國吉和子（多摩美術大学）

<実演> 中国古琴の演奏「良宵引」、「平沙落雁」、「水仙操」（11：20～11：40） 王風（北京大学）

質疑応答（11：40～12：10）



< Keynote Speech >（13：30～14：20）

司会：三原芳秋（一橋大学）

韓国の舞踊の美学—コンセプトとテクニック

Aesthetics of Korean Dance: Concepts and Techniques

Judy Van Zile (University of Hawaii at Manoa)

第2部 韓国の音楽と舞踊の世界

司会：植村幸生（東京芸術大学）

1. 宮中舞踊「春鶯囀」…………… 安留奈

2. 申寛龍流 伽倻琴散調「短い散調」…………… 姜貞烈・安留奈、鼓手：李相鎬

3. 伽倻琴併唱、春香歌より「サランガ（愛の歌）」…………… 姜貞烈・安留奈、鼓手：李相鎬

4. 短歌「四節歌」…………… 裴平舜、鼓手：李相鎬

5. 伝統舞踊「サルプリ舞」…………… 安留奈

6. 伽倻琴竝唱「片時春」「沈清歌よりシムボンサがペンドクネを失い嘆く一節」…………… 姜貞烈、鼓手：李相鎬

< 韓国文化体験 >（16：50～17：30）

司会：イ・ヨンスク（一橋大学）

染色の世界を味わう—韓国の色と民族衣装—

李那瓊(梨花女子大学)

日時：2017年5月13日（土）9：30～17：30

会場：一橋大学 東キャンパス 第3研究館 3階 研究会議室

一橋大学大学院 言語社会研究科 韓国学研究センター

お問い合わせ：hitokanken@gmail.com

URL：http://gensha.hit-u.ac.jp/about/k-studies.html

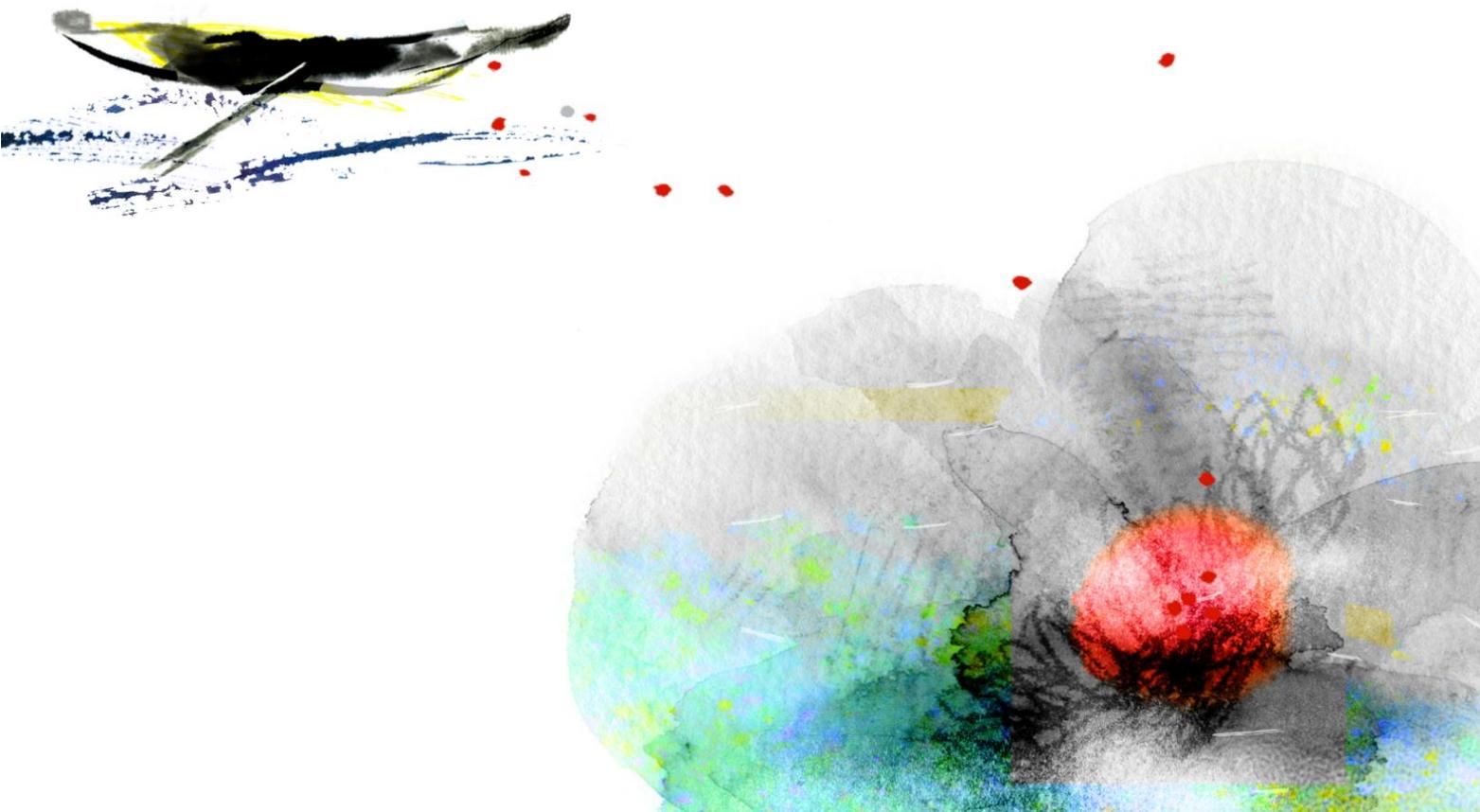
一橋大学大学院言語社会研究科 韓国学研究センター
設立記念国際シンポジウム

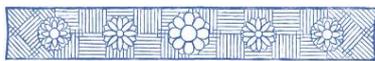
韓国文化の芸術的な想像力と 深層世界

—音楽・美術・舞踊・衣装—

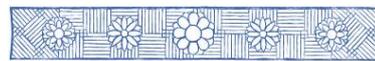
日時：2017年5月13日（土）9：30～17：30

会場：一橋大学 東キャンパス 第3研究館 3階 研究会議室





挨拶



一橋大学大学院言語社会研究科韓国学研究センターは、「歴史的な和解の可能性を模索する韓国学—体験・記憶・共生のスペクトラム」という研究テーマを掲げ、人文学・社会科学を基軸に、個別の研究領域を超えた学際・脱地域・比較的手法に拠る新しい韓国学研究、朝鮮半島を中心としながら、更に広く東アジア諸地域についての研究を通じて、アジア共同体の構築に知的な貢献をするために、2016年12月に設立されました。

「体験・記憶・共生」はセンターの推進する研究事業のキーワードです。歴史的な「体験」、「記憶」の政治学、そして多言語多文化の「共生」の可能性など、日韓両国、東アジア地域の過去と現在に、さまざまな角度から光を当て、韓国学を東アジア学という大きな枠組の中に位置づけ、その重要性を広く知らしめること、東アジア学の更なる充実と豊富化に寄与することが、韓国学研究センターの目指すところです。したがって、学問研究として高水準の成果を世に問うことはもちろん、決して一つのスタイルにとらわれることなく、自由で闊達な活動を展開しながら、如上の目標の実現に努めてまいります。

今回の本センター設立記念国際シンポジウムは、このような問題意識に基づいて企画されました。研究成果発表の場としての学術集会がややもすれば免れない固苦しさを、東アジアの音楽・美術・舞踊・衣装など、多彩な表象の魅力に直に触れる、祝祭的な「場」の現出により、少しでも打ち破ることができれば、というのが、主催に当たってのささやかな狙いです。それは一橋大学大学院言語社会研究科韓国学研究センターの標榜する未来志向的なスタイルの現れでもあります。

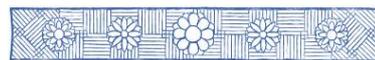
今後とも一橋大学大学院言語社会研究科韓国学研究センターの活動にご注目いただき、ご声援を賜りますなら、この上ない幸せに存じます。

一橋大学大学院言語社会研究科長
一橋大学大学院言語社会研究科韓国学研究センター長

坂井洋史
イ・ヨンスク



プログラム



第1部 アジアの中の韓国文化

司会：鈴木将久（一橋大学）

開会の辞（9：30～9：40）

坂井洋史（言語社会研究科長）

1. 朝鮮時代軍楽の社会・文化史に向けて（9：40～10：00）

植村幸生（東京芸術大学）

2. 元代の古琴を論ず〔論元代的古琴〕（10：00～10：20）

王風（北京大学）

3. 仏教／仏教美術からみた韓国の美／アジアの美—飛天を中心に（10：20～10：40）

姜嬉静（西江大学）

休憩（10：40～11：00）

4. 日本のモダンダンスと朝鮮 — 石井漠と崔承喜（11：00～11：20）

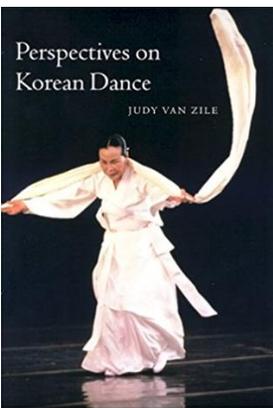
國吉和子（多摩美術大学）

<実演> 中国古琴の演奏（11：20～11：40）

「良宵引」「平沙落雁」「水仙操」

王風（北京大学）

質疑応答（11：40～12：10）



< Keynote Speech >

(13:30 ~ 14:20)

司会：三原芳秋（一橋大学）

韓国の舞踊の美学—コンセプトとテクニック Aesthetics of Korean Dance: Concepts and Techniques

Judy Van Zile (University of Hawaii at Manoa)

第2部 韓国の音楽と舞踊の世界

司会：植村幸生（東京芸術大学）

1. 宮中舞踊「春鶯囀」

궁중무용 「춘앵전」

安留奈

2. 申寬龍流 伽倻琴散調「短い散調」

신관용류 가야금산조 「짧은 산조」

姜貞烈・安留奈

鼓手：李相鎬

3. 伽倻琴併唱 春香歌より「サランガ（愛の歌）」

가야금 병창 춘향가 중에서 「사랑가」

姜貞烈・安留奈

鼓手：李相鎬

4. 短歌「四節歌」

단가 「사절가」

裴平舜

鼓手：李相鎬

5. 伝統舞踊「サルプリ舞」

전통무용 「살풀이춤」

安留奈

6. 伽倻琴竝唱「片時春」

「沈清歌よりシムボンサがペンドクネを失い嘆く一節」

가야금 병창 「편시춘」 「심청가 중에서」

姜貞烈

鼓手：李相鎬



< 韓国文化体験 >

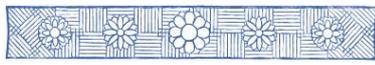
(16:50~17:30)

司会：イ・ヨンスク（一橋大学）

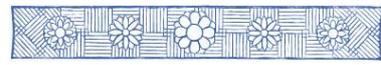
染色の世界を味わう—韓国の色と民族衣装—

李那瓊(梨花女子大学)





演者プロフィール



姜貞烈 (カン・ジョンリョル)

韓国重要無形文化財 第23号 伽倻琴散調及び伽倻琴竝唱芸能保有者
慶州 新羅芸術祭 国楽大祭典 第18回大統領賞受賞
全羅北道 道立国楽院教授 歴任
韓国重要無形文化財 第23号 姜貞烈 伽倻琴傳授館代表

安留奈 (アン・ユナ)

国家指定重要無形文化財第23号伽倻琴及び併唱専修者
ソウル市重要無形文化財第44号三絃六角奚琴専修者
陳裕林青於藍ウリチュム研究会日本東京支部代表
韓国宮廷舞踊「飛履の会」代表

裴平舜 (ペ・ピョンスン)

金秀妍先生師事
2010年韓国伝統芸術公演「ハルミッコ」出演
2016年韓国伝統芸術公演「全州の風」東京、大阪公演出演

李相鎬 (イ・サンホ)

全北大学 芸術大学韓国音楽家卒業
国立唱劇団、全北道立国楽院 歴任
全国パルマ鼓手大会にて大統領賞受賞
全羅北道無形文化財第9号 (パンソリ長短-鼓法) 履修者

王風 (ワン・フォン)

北京大学中文系副教授
中国近代文学・学術史研究専攻
2014年旅順博物館「東北博物館蔵古琴聯展」監修
中国崑曲古琴研究会理事



日時：2017年5月13日 (土) 9:30~17:30

会場：一橋大学 東キャンパス 第3研究館 3階 研究会議室

一橋大学大学院 言語社会研究科 韓国学研究センター
お問い合わせ：hitokanken@gmail.com
URL：http://gensha.hit-u.ac.jp/about/k-studies.html

